

別表2

(2022-1回)

	<table border="1"> <tr><td colspan="2">1</td></tr> <tr><td>書名</td><td>ジェニーのぼうし</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作 エズラ・ジャック・キーツ 訳 石津ちひろ</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>好学社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,600</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校低学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2022年5月</td></tr> </table>	1		書名	ジェニーのぼうし	著者等	作 エズラ・ジャック・キーツ 訳 石津ちひろ	出版社	好学社	定価	1,600	対象	幼児～小学校低学年	発行	2022年5月	<p>ジェニーは、おばさんから届く新しいぼうしをずっと待っていた。きっとそのぼうしには花がたくさんついていて、びっくりするほどおしゃれなぼうしかもしれない…。ジェニーはいろいろ想像しながらまっていた。そしてついに、ぼうしが届いた。そのぼうしはジェニーが思い描いてきた、はなやかなものではなくとてもシンプルなぼうしだったので、ジェニーはがっかり。次の日、ジェニーは教会に行ってもみんなのすてきなぼうしが気になってしかたがない。でも教会の帰り道、ジェニーのぼうしにすばらしいことが…。切り絵や貼り絵の技法で美しく表現された絵本。</p>
1																
書名	ジェニーのぼうし															
著者等	作 エズラ・ジャック・キーツ 訳 石津ちひろ															
出版社	好学社															
定価	1,600															
対象	幼児～小学校低学年															
発行	2022年5月															
(分類番号 726)																
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">2</td></tr> <tr><td>書名</td><td>りぼんちょうだい</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>文 かんざわとしこ 絵 ましませつこ</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>こぐま社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,000</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校低学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2022年3月</td></tr> </table>	2		書名	りぼんちょうだい	著者等	文 かんざわとしこ 絵 ましませつこ	出版社	こぐま社	定価	1,000	対象	幼児～小学校低学年	発行	2022年3月	<p>おくりものにむすばれていた、ながいりぼん。「りぼんちょうだい」女の子は、りぼんをもらおうとさっそくかみに結んで、ほら、おそろい。「りぼんちょうだい」あひるがやってきて、ほらにあってる。「りぼんちょうだい」こんどはねこたちが…。それから、ねずみやかえるたちが次々にやってきて…。りぼんは短くなるけれど、身につけたり、なわとびのなわにして遊んだり、はたをつくったり、楽しみはふくらむ。明るい色彩で描かれた動きのある絵と、くり返しのこどばが、リズムカルで親しみのもてる絵本。</p>
2																
書名	りぼんちょうだい															
著者等	文 かんざわとしこ 絵 ましませつこ															
出版社	こぐま社															
定価	1,000															
対象	幼児～小学校低学年															
発行	2022年3月															
(分類番号 726)																
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">3</td></tr> <tr><td>書名</td><td>ヤングさんのオーケストラ</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作 なかえよしを 絵 小池敏彦</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>ポプラ社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,500</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校中学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2022年4月</td></tr> </table>	3		書名	ヤングさんのオーケストラ	著者等	作 なかえよしを 絵 小池敏彦	出版社	ポプラ社	定価	1,500	対象	幼児～小学校中学年	発行	2022年4月	<p>ヤングさんは、有名なオーケストラの指揮者だ。ヤングさんが指揮をする音楽会は、いつもお客さんでいっぱい。きょうのコンサートも大盛況におわった。そんなヤングさんがコンサートのあと、一人の新聞記者にたずねられた。「どうしてしきしゃになられたのですか?」「ええと…」ヤングさんがひとつずつ記憶を頼りに思い出す。そしてたどりついた先には、少年時代に公園で出会ったひとりのおばあさんの存在があった。あの時のおばあさんとの約束を思い出したヤングさんは…。個性的で力強い絵と文が魅力的な絵本。</p>
3																
書名	ヤングさんのオーケストラ															
著者等	作 なかえよしを 絵 小池敏彦															
出版社	ポプラ社															
定価	1,500															
対象	幼児～小学校中学年															
発行	2022年4月															
(分類番号 726)																
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">4</td></tr> <tr><td>書名</td><td>えんどうまめばあさんとそらまめじいさんのいそがしい毎日</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>原案・文 松岡享子 文・絵 降矢なな</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>福音館書店</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,200</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校中学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2022年4月</td></tr> </table>	4		書名	えんどうまめばあさんとそらまめじいさんのいそがしい毎日	著者等	原案・文 松岡享子 文・絵 降矢なな	出版社	福音館書店	定価	1,200	対象	幼児～小学校中学年	発行	2022年4月	<p>赤いやねの小さな家に、えんどうまめばあさんとそらまめじいさんが、なかよくくらしていた。二人ともそれは働きもので、毎日朝から晩までくるくるとまめまめしく働いていた。でもひとつだけ困ったことは、何かをしている最中でも、ほかにやりたいことが見つかること、最初のことはほったらかしにして、すぐにそちらに取りかかってしまうことだ。この日も、おばあさんはお昼ごはんの途中で、やりたいことを思いついてしまう…。じっくりと練られた心あたたまるストーリーに、明るくのびやかな絵がぴったりのすてきで楽しい絵本。</p>
4																
書名	えんどうまめばあさんとそらまめじいさんのいそがしい毎日															
著者等	原案・文 松岡享子 文・絵 降矢なな															
出版社	福音館書店															
定価	1,200															
対象	幼児～小学校中学年															
発行	2022年4月															
(分類番号 726)																
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">5</td></tr> <tr><td>書名</td><td>ハタハタ：荒海にかがやく命</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>写真・文 高久至</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>あかね書房</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,300</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校中学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2021年12月</td></tr> </table>	5		書名	ハタハタ：荒海にかがやく命	著者等	写真・文 高久至	出版社	あかね書房	定価	1,300	対象	幼児～小学校中学年	発行	2021年12月	<p>ハタハタは、ちょっと変わった魚。20から25センチ程の細長い体に大きな目と胸ビレ。口は上向きで体にウロコがない。普段は水深200メートルから300メートルの深海に住んでいるが、11月末から12月初めにかけて産卵のため群をなし、荒れくるう秋田の海の浅瀬に現れる。波が激しく水が冷たいので天敵が少ないからだ。卵は二ヶ月のあいだ荒波から十分な酸素をもらいながら育ち、ふ化のときを迎える…ハタハタの産卵と稚魚の成長に焦点を当てた写真絵本。巻末の開設には、水中ガイド県写真家の著者がハタハタに興味をもったきっかけも語られている。</p>
5																
書名	ハタハタ：荒海にかがやく命															
著者等	写真・文 高久至															
出版社	あかね書房															
定価	1,300															
対象	幼児～小学校中学年															
発行	2021年12月															
(分類番号 664)																
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">6</td></tr> <tr><td>書名</td><td>クロケのジャムとももふか草</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作 島村木綿子 絵 北村裕花</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>国土社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,200</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校低学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2022年3月</td></tr> </table>	6		書名	クロケのジャムとももふか草	著者等	作 島村木綿子 絵 北村裕花	出版社	国土社	定価	1,200	対象	小学校低学年	発行	2022年3月	<p>クロケはくだもの屋さんのべに子さんちのねこ。ふしぎな「モフカの庭」で、元気が出ると評判の、ねこのためのジャムを作る。元気のもとは、スミばあちゃんのももふか草。ところが元気が出ないとジャムが売れなくなり、モフカの庭に入りこんだはずなどいっしょに、ももふか草を探す。雨でかぜをひいたクロケの前にスミばあちゃんがあらわれ、「かならずあると信じて探せば近くにあるかもしれない」と励まされ、ついにももふか草を見つける。信じて探す大切さを伝えるファンタジー。</p>
6																
書名	クロケのジャムとももふか草															
著者等	作 島村木綿子 絵 北村裕花															
出版社	国土社															
定価	1,200															
対象	小学校低学年															
発行	2022年3月															
(分類番号 913)																

	<table border="1"> <tr><td colspan="2">7</td></tr> <tr><td>書名</td><td>くまのピエール</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作 イブ・スパング・オルセン 訳 菱木晃子</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>こぐま社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,400</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校低学年～中学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2022年3月</td></tr> </table>	7		書名	くまのピエール	著者等	作 イブ・スパング・オルセン 訳 菱木晃子	出版社	こぐま社	定価	1,400	対象	小学校低学年～中学年	発行	2022年3月	<p>ピエールはステイーヌの家で暮らす小さなくまのぬいぐるみ。花壇の石を「かたいラスク」だと思ったり、はじめて見た月をコインだと思ったり、かんちがいをしてはおかしなハプニングにあっている。ときどきピンチにもあうが、なんとか切り抜けてステイーヌのもとにもどる。ユーモラスでにくめない。そんなピエールの日々を描く、絵物語。</p>
7																
書名	くまのピエール															
著者等	作 イブ・スパング・オルセン 訳 菱木晃子															
出版社	こぐま社															
定価	1,400															
対象	小学校低学年～中学年															
発行	2022年3月															
(分類番号 949)																
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">8</td></tr> <tr><td>書名</td><td>オイモはときどきいなくなる</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 田中哲弥 画 加藤久仁生</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>福音館書店</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,400</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校中学年～高学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2021年7月</td></tr> </table>	8		書名	オイモはときどきいなくなる	著者等	著 田中哲弥 画 加藤久仁生	出版社	福音館書店	定価	1,400	対象	小学校中学年～高学年	発行	2021年7月	<p>オイモは三年生のモモヨが生まれる前から家にいる雑種の犬。時々いなくなるが暗くなる前には帰ってきていた。けれど、そのオイモがめずらしく帰ってこない。モモヨはオイモを探しに、田んぼからうら山へ行く。途中にある古いお屋敷にはレオンさんというおばあさんが住んでいる。オイモがいた。季節の変化とともにオイモも弱っていく。レオンさんも救急車で運ばれる。美しい自然を背景に生と死、現実なのか夢なのか、境目の世界を行ったり来たりする物語。</p>
8																
書名	オイモはときどきいなくなる															
著者等	著 田中哲弥 画 加藤久仁生															
出版社	福音館書店															
定価	1,400															
対象	小学校中学年～高学年															
発行	2021年7月															
(分類番号 913)																
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">9</td></tr> <tr><td>書名</td><td>リメイク!</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作 あさだりん 絵 いつか</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>フレーベル館</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,400</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校高学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2022年4月</td></tr> </table>	9		書名	リメイク!	著者等	作 あさだりん 絵 いつか	出版社	フレーベル館	定価	1,400	対象	小学校高学年	発行	2022年4月	<p>由希は6年生。莉奈といっしょに手芸クラブに入っているが、クラブ長になってしまう。新メンバーで5年生の男の子ひかるはやりたいことをはっきりという。バザーではぎれ布をリメイクしてシュシュやタグを作ることになる。由希は期間に間に合わせようと頑張る。一方、ママはPTAでそのバザーのまとめ役になり、ふたりは忙しい。男が手芸をするのは変とか、食事の用意をだれがするのかとか、外見や男だから女だからと無意識に思っていたことをひとつひとつ確かめていく。ふたつのリメイクが進み、みんなが少しずつ変わっていく物語。</p>
9																
書名	リメイク!															
著者等	作 あさだりん 絵 いつか															
出版社	フレーベル館															
定価	1,400															
対象	小学校高学年															
発行	2022年4月															
(分類番号 913)																
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">10</td></tr> <tr><td>書名</td><td>ひまりのすてき時間割</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>作 井嶋敦子 絵 丸山ゆき</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>童心社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,300</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校中学年～高学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2021年11月</td></tr> </table>	10		書名	ひまりのすてき時間割	著者等	作 井嶋敦子 絵 丸山ゆき	出版社	童心社	定価	1,300	対象	小学校中学年～高学年	発行	2021年11月	<p>真由は6年1組の同級生ひまりが好きだ。元気でいっしょにいると明るくなる。ひまりは気持ちを抑えられずに行動したり、片付けが苦手だったり、忘れ物をしたりして困ることも多い。ある日、覚えのないことで先生に怒られて、ひまりは落ち込む。小児科の先生にお薬を出してもらい、カウンセラーの先生と話し、ようやく学校へ来ることができる。真由はひまりがつくった「ひまりのすてき時間割」というノートを読ませてもらう。その時その時することを決めて書いたものだった。発達障がいではなく、性格や行動の特性である。その特性を知り、対処することで毎日を生き活きと過ごせるようになると、小児科医でもある作者からのエールの物語。</p>
10																
書名	ひまりのすてき時間割															
著者等	作 井嶋敦子 絵 丸山ゆき															
出版社	童心社															
定価	1,300															
対象	小学校中学年～高学年															
発行	2021年11月															
(分類番号 913)																
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">11</td></tr> <tr><td>書名</td><td>食べものが足りない! : 食料危機問題がわかる本</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 井出留美 絵 手塚雅恵</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>旬報社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,400</td></tr> <tr><td>対象</td><td>中学生～</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2022年1月</td></tr> </table>	11		書名	食べものが足りない! : 食料危機問題がわかる本	著者等	著 井出留美 絵 手塚雅恵	出版社	旬報社	定価	1,400	対象	中学生～	発行	2022年1月	<p>スーパーには様々な食品があふれ、毎日おいしい給食が食べられる日本にいと実感しにくいのが、世界は今飢餓に直面しており、近い将来それは私たちの問題になると筆者は訴える。本書では、まず世界の食料危機の現実とその原因が示される。6割以上の食べ物を他国に依存している日本なのに、「毎年東京都民が一年間食べていけるという600万トンもの食べ物を廃棄している」、「気候変動は食料危機に直結するが、日本のごみ焼却率は世界1位で、大量のCO2を排出している」など深刻さがわかってくる。社会の問題を自分のこととしてとらえ、一人一人の生活への意識を変えることで解決が見えてくると筆者は呼びかける。見開き2ページにひとつの問題を示し、数字や具体例を使って易しく解説する本書は、すべての世代が読みたい食料問題の優れた入門書である。</p>
11																
書名	食べものが足りない! : 食料危機問題がわかる本															
著者等	著 井出留美 絵 手塚雅恵															
出版社	旬報社															
定価	1,400															
対象	中学生～															
発行	2022年1月															
(分類番号 611)																
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">12</td></tr> <tr><td>書名</td><td>短歌部、ただいま部員募集中!</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 小島なお/千葉聡</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>岩波書店</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,450</td></tr> <tr><td>対象</td><td>中学生～</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2022年4月</td></tr> </table>	12		書名	短歌部、ただいま部員募集中!	著者等	著 小島なお/千葉聡	出版社	岩波書店	定価	1,450	対象	中学生～	発行	2022年4月	<p>「あきかぜの中のきりんを見て立てば ああわれといふ暗きかたまり」そこそこ楽しい高校生活のなかで、誰にも理解されないという孤独を感じていた少女は「暗きかたまり」という言葉に肯定されたと感じ、強く共感して短歌の世界に入っていった。歌人の小島なおが短歌との出会いを語り、高校教師で歌人の千葉聡と交互に、現代の短歌を例に挙げながら、その表現の可能性を語り、創作へと導く。三十一音の短歌が、友達との付き合い方に迷ったり、自分自身に戸惑ったり、傷ついたりする心に寄り添い、ときには自分の言葉以上に自分を表現してくれることがある。入門書ではあるが、ふたりの歌人が若い人によせる深い思いがあふれ出している。歌に心洗われ、親しみが持てる一冊。</p>
12																
書名	短歌部、ただいま部員募集中!															
著者等	著 小島なお/千葉聡															
出版社	岩波書店															
定価	1,450															
対象	中学生～															
発行	2022年4月															
(分類番号 911)																

	<p>13</p> <table border="1"> <tr> <td>書名</td> <td>ギソク 陸上部</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>原案 山下白 著 舟崎泉美</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>学研プラス</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,200</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>中学生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2022年3月</td> </tr> </table>	書名	ギソク 陸上部	著者等	原案 山下白 著 舟崎泉美	出版社	学研プラス	定価	1,200	対象	中学生～	発行	2022年3月	<p>成瀬颯斗は走ることが大好きだ。陸上部では全中出場を目指し、将来はオリンピック選手になることを夢見ていた。だが、その夢は突然断たれた。「ユーイング肉腫」の診断を受け、右足をひざ下から切断することになったのだ。自分の足で走れなくなった絶望感、ないはずの足が痛む幻肢痛に苦しみ、義足に向けられる他人の目をつよく意識し、友人の気遣いも素直に受け止められず、颯斗は人との関りを避けるようになっていく。</p> <p>そんな彼を救ったのは、競技用の義足、そして目標をもって生きるパラアスリートとの出会いだった。再び走る喜びと新たな目標を手に入れた颯斗は、自分の心を見つめなおし、周囲の思いも理解できるようになっていく。</p> <p>障がい者としての生き方に悩む颯斗の葛藤や成長を丁寧に描くパラアスリート青春小説。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 913)</p>
書名	ギソク 陸上部													
著者等	原案 山下白 著 舟崎泉美													
出版社	学研プラス													
定価	1,200													
対象	中学生～													
発行	2022年3月													
	<p>14</p> <table border="1"> <tr> <td>書名</td> <td>18枚のポートレート : 柏葉幸子小品集</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 柏葉幸子 画 植田たてり</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>理論社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>小学校高学年～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2022年3月</td> </tr> </table>	書名	18枚のポートレート : 柏葉幸子小品集	著者等	著 柏葉幸子 画 植田たてり	出版社	理論社	定価	1,300	対象	小学校高学年～	発行	2022年3月	<p>海に出て帰らない家族の無事を祈ると願いが叶うという岬公園で、友美は友達裕太を見かける。裕太は震災で父を亡くしていた。父ともう一度剣道のけいこがしたいと願う裕太は、二年が過ぎても岬公園に来る。そんな裕太のために、友美はある計画を思いつくのだが……。(「風待ち岬」)</p> <p>ファンタジーの名手柏葉幸子が半世紀の作家生活で書きためてきた小品が18編収められている。普通の人々が暮らす何気ない日常のなかで、ふと気づくと鬼や魔女がそばにいたり、家族だと思ったら動物だったり、雪だるまや河童が家に来たり。子供から大人まで、過去から現代まで、山里から大都会まで、自由自在に繰り広げられる不思議の世界で、登場人物が会うやさしい魔法と奇跡の物語に、温かい気持ちになる一冊だ。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 913)</p>
書名	18枚のポートレート : 柏葉幸子小品集													
著者等	著 柏葉幸子 画 植田たてり													
出版社	理論社													
定価	1,300													
対象	小学校高学年～													
発行	2022年3月													
	<p>15</p> <table border="1"> <tr> <td>書名</td> <td>しあわせをさがしている きみに</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>作 エヴァ・イーランド 訳 いたうひろみ</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ほるぷ出版</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>小学生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2021年7月</td> </tr> </table>	書名	しあわせをさがしている きみに	著者等	作 エヴァ・イーランド 訳 いたうひろみ	出版社	ほるぷ出版	定価	1,500	対象	小学生～	発行	2021年7月	<p>「しあわせをさがしているの？しあわせってときどきべつのかたちをしていたり べつのなまえをもっていたりかくれていた……」</p> <p>古から人々が考え続けてきた「人生における幸福とはなにか？」という問いに、やさしい絵とうつくしい詩でこたえる絵本。追求め、守ろうとして、時には見失って迷うこともある「しあわせ」は、ほんとうは「いつもそこに」いる。気づいて、受け止めて、大切にしていけば「きみからしあわせがうまれていく」のだと、語りかけてくる。訳者は詩人の伊藤比呂美。すべてひらがなで書かれ、小さな子供にも読めるけれど、青春の日々のなかで迷う十代や、懸命に生きている大人たちにこそ薦めたい一冊だ。きっと心に抱えてきた重い荷物がすこし軽くなる。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 726)</p>
書名	しあわせをさがしている きみに													
著者等	作 エヴァ・イーランド 訳 いたうひろみ													
出版社	ほるぷ出版													
定価	1,500													
対象	小学生～													
発行	2021年7月													
	<p>16</p> <table border="1"> <tr> <td>書名</td> <td>階段ランナー</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 吉野万理子</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>徳間書店</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,700</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2022年1月</td> </tr> </table>	書名	階段ランナー	著者等	著 吉野万理子	出版社	徳間書店	定価	1,700	対象	高校生～	発行	2022年1月	<p>高校生の奥貫広夢は、母が起こしたトラブルで中学から頑張っていた水泳をやめた。三上瑠衣は将来有望な卓球選手だったが、原因不明の体調不調で卓球の道を諦めることに。二人が3年生になる直前に学校をやめた高桑曜太郎先生、通称タクワンは階段研究家を自称し、階段にまつわるブログを書いていた。その記事を通じて興味を持った二人は階段の魅力に引き込まれ、次第にお互いの距離を縮めていく。そして、171段の階段を駆け上がる「京都駅大階段駆け上り大会」に世代を超えた仲間とともに挑戦する。悩みを乗り越えてまっすぐに駆け上がる二人が、前向きに自分の道を切り拓く清々しい青春小説。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 913)</p>
書名	階段ランナー													
著者等	著 吉野万理子													
出版社	徳間書店													
定価	1,700													
対象	高校生～													
発行	2022年1月													
	<p>17</p> <table border="1"> <tr> <td>書名</td> <td>ななみの海</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 朝比奈あすか</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>双葉社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生～</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2022年2月</td> </tr> </table>	書名	ななみの海	著者等	著 朝比奈あすか	出版社	双葉社	定価	1,600	対象	高校生～	発行	2022年2月	<p>高校2年生のななみは5年前から児童養護施設で暮らしている。母の代わりに自分を育ててくれた祖母から、馬鹿にされちゃいけない、誰にも負けちゃいけない、だから「医者になれ」と言われ続けてきた。施設では「いい子」として過ごし、自立のためにアルバイトをしながらダンス部の練習を楽しんでいるが、仲の良い友達にも施設で暮らしていることを言えずにいた。友達や施設内の人間関係、進路、恋、部活にアルバイト。落ち込むことや悩みは尽きず、ななみは血の滲むまで爪を噛む。祖母の呪縛で医学部を目指していたななみだったが、「いい大人が増えれば、困らない子どもも増える。本当はそれが世界で一番大事なこと。」だと気づき、やがて自分の道を見つけていく。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 913)</p>
書名	ななみの海													
著者等	著 朝比奈あすか													
出版社	双葉社													
定価	1,600													
対象	高校生～													
発行	2022年2月													

	18		<p>人間がしていた仕事をヒューマノイドやロボットが担うようになっていく近未来の2035年。競馬用ヒューマノイドのコリーは、人為的ミスにより千個の単語と学習能力を持っていた。相棒の競走馬トゥデイは韓国新記録を持つ名馬だったが、適切な治療を受けられず立つのもままならない。トゥデイを救うため自ら落馬したコリーは、廃棄寸前でロボット研究者の夢に挫折していた15歳のヨンジェに引き取られる。小児麻痺で車いす生活の姉ウネはトゥデイを何とか救いたいと行動を起こす。素直で率直なコリーとの会話を通じ、家族のわだかまりや人との関わり、利己的な考えや理不尽な思いの中にいた人々は少しずつ変わっていき、やがて奇跡を起こす。社会の脆さ、人間の儂さと優しさを描くSF小説。</p>	
書名	千個の青	著者等		著 チョン・ソンラン 訳 カン・バンファ
出版社	早川書房	定価		2,000
対象	高校生～	発行		2021年10月
				(分類番号 929)
				<p>恵泉女学園を創立し、キリスト教に基づく教育、特にシエアの精神を生涯かけて実践した河井道。1877年生まれ。道は神職の父を持つが、移住した北海道のミッション系の女学校へ通うことになり、新渡戸稲造に出会う。19歳で上京して津田梅子の家に下宿しながら学び、米国のプリンマー女子大に留学する。開かれた教育やシエアの精神に心を貫かれた道は、帰国後女子英学塾（現・津田塾大学）で教え、YWCAの活動に携わり、やがて支援を取り付け1929年52歳の時に恵泉女学園を設立する。その時代を象徴する人々もたくさん登場し、女性の権利が確立されていった時代の女子教育を創り守った道の生涯を描いたシスターフッド（血縁関係を持たない女性同士の絆）の物語。</p>
		19		
書名	らんたん	著者等	著 柚木麻子	
出版社	小学館	定価	1,800	
対象	高校生～	発行	2021年11月	
			(分類番号 913)	
	20		<p>著者の「父」はアルピニスト野口健、「子」は高校生でひとり娘の絵子。小学4年生の頃から「父子登山」を始めた二人。世界の山々にも挑戦していて、15歳でキリマンジャロに父娘登頂を果たした。一緒に山に登るようになって、父子の間にも関係の変化があったという。子どもの頃は引込み思案で、親にも思っていることが言えなかった絵子が、今では登山やテレビ出演、積極的にアクティビティに参加するようになっていく。子どもの「選択」や「決断」に家族と一緒に向き合うために、父と子の良好なコミュニケーションが重要な役割を果たしている。当時を回想し、今を見つめ、将来を語り合う父子が、一緒に考え向き合っていこうと提案する対談集。</p>	
書名	父子で考えた「自分の道」の見つけ方：「正解」を選ぶのではなく、選んだ道を「正解」にすればいい！	著者等		著 野口絵子/野口健
出版社	誠文堂新光社	定価		1,500
対象	中学生・高校生～	発行		2022年3月
				(分類番号 786)